



ド田舎の経済を潤わせたい!!

～まってる大都市 下剋上します～

班員 松田 海音 藤本 昊 神戸 詞世
黒木 愛世 本田 光 高木 遥菜

アドバイザー 九鬼 勉 様
指導者 圖師 崇人 先生

研究の動機

自分たちが生活している宮崎と経済が発展している大都市を比較した際に人口に大きな差があると感じた。私たちが移住をする際に考えるポイントをまとめることで興味をもち移住してくる人が増えて経済が回り始めるのではないかと考えたから。

先行研究

福岡県 移住・定住ポータルサイト
福がおへからし

	仕事		住まい・暮らし				結婚・子育て		医療・福祉			移住						
	起業・事業・就職	就業体験	農業水産業	その他	家を購入する	家を改修する	空き家	設備	その他	結婚	出産	子育て・教育	医療・福祉	防災・安全	その他	移住体験	お試し居住施設	その他
北九州市	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
福岡市	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
太宰田市	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
久留米市	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
直方市	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
飯塚市	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

研究方法

宮崎県9市の人口・学校数・年収・流入数・病院数を項目ごとに比較しグラフにまとめる。比較する際は各項目ごとにランク付けし、点数を与え、総合的にどの市が移住するにあたって最も快適に過ごせる市を見つける。

仮説

総合的に俯瞰して考えると、宮崎市、都城市、延岡市が上位3市に入ると考えられる。だが、部分的に見ると他の市も上位3市に劣らないものを持っているとも考えられる。

必要な道具

- ポスターや企画書が作れるサイズの紙
- コピー機
- パソコン・タブレット

謝辞

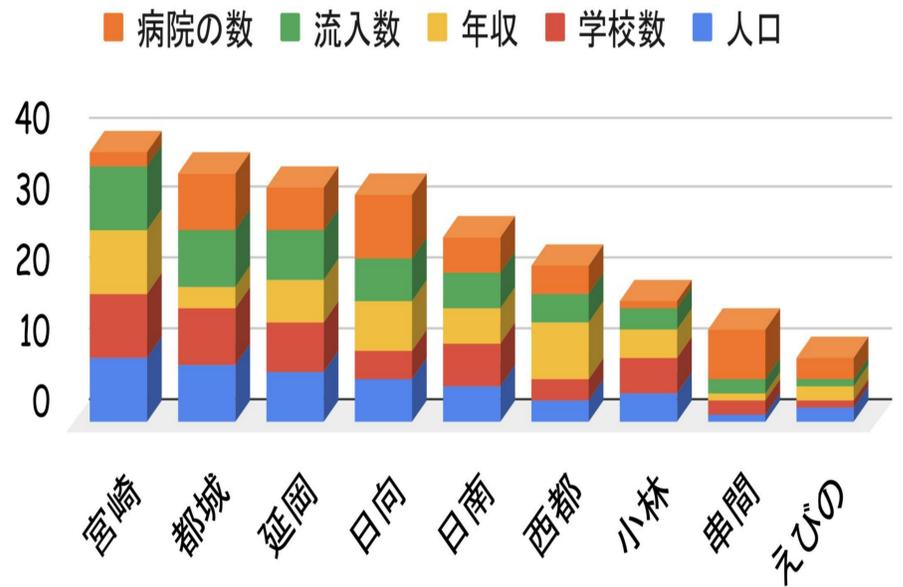
今回の研究に携わってくださっていたいた方々、本当にありがとうございました。

参考文献

- 11月1日 住まいインデックス
<https://lifullhomes-index.jp/info/money-data/household/miyazaki-pref/miyazaki-city/>
- 宮崎県ホームページ 11月8日
https://www.pref.miyazaki.lg.jp/documents/38269/38269_20230824092035-1.pdf

結果

人口、学校数、年収、流入数、病院の数



結果は仮説で立てていた通り、宮崎市が総合1位、都城市が2位、延岡市が3位と、やはり想像通りになったが、病院の数では日向市、年収では西都市が上位に来ていることなど、下剋上している市もある。

考察

結果より、人口の順位と流入数の順位は等しくなっていることから、総合的な順位が下位であっても、人口と密接に関係している流入数が多くなれば、順位は上がる。

結論

- ・市の取り組みと商業施設の充実度を上げることが大事。
- ・年収は移住にあまり関係ない。

今後の展望

今回は交通量などの漠然とした数値などは比較できなかったため、次研究する機会があれば、専門家の人に話を伺い、もっと様々な観点から比較したいです。